

2019年 5月 29日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

## 建物そのものが研修素材 「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」本格稼働

N  T I A

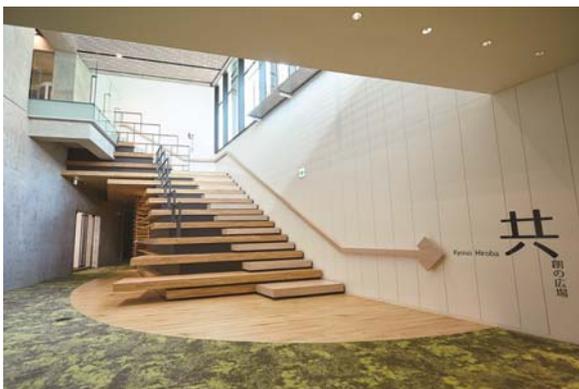
株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、技術面での提案力強化、人材育成の場として、東京都目黒区上目黒に「東急コミュニティー技術研修センターNOTIA」（以下、当センター）を新設し、2019年5月より本格稼働したことをお知らせいたします。従業員の技術力・提案力を高めることで、お客様のマンションやビルなどの資産価値向上につなげてまいります。

### 技術研修センター「NOTIA」の概要

当センターのコンセプトは『建物そのものが研修素材』です。本物の現場と同じ環境で、見て、触って、学べる施設として、各階を以下のように設計しています。

#### ①地下1階：多目的フロア

座学から実技研修、プレゼンテーションにも使える多目的に使える空間です。



・階高を高くとったホールでは、基礎的な学びから、応用・発展の学びまで、幅広い「学び」が行われます。

・大型スクリーンや様々なICT機器を完備し、一方通行な座学ではなく、相互に学べる参加型の学習スタイルにより、人材育成を加速します。

・ライブラリーコーナーや共創の広場は交流の場にもなります。

## ②2階・3階:設備実習のフロア

実物で学び、設備の基礎・応用がしっかりと身に付くフロアです。

- ・2階・・・防火・防災設備と給排水・衛生設備の「原理原則」を学ぶ  
連動する各設備を使い、現場でしか経験できなかったことを研修として再現します。また、消火ホースを使った放水も体験できます。



- ・3階・・・電気設備と空調設備の「原理原則」を学ぶ  
配管・配線・ダクトは露出し、空気、電気の流れを「追える」工夫がされています。温熱制御実習スペースでは、実際に研修用設備を調整しながら、快適な温度と湿度を制御するスキルを学びます。



## ③4階:知的創造のフロア

開放感のある学び・交流の空間です。

- ・無線投影システムや電子黒板を完備し、お互いに教え合い知識を共有・グループで課題を解決するなど、協調学習の場として活用できます。
- ・用途に合わせて空間を変化させることが可能な、アクティブラーニングスペースです。
- ・コミュニケーションスペースを設け、リラックスして交流を深めることができます。



## 省エネ率 75%の Nearly ZEB 取得

ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは、建築・設備上の省エネルギー技術によってエネルギー消費を極力小さくする一方、太陽光発電などによってエネルギーを自給し（創エネ）、トータルのエネルギー消費量の削減を目指す建物を指します。NOTIA は東京都内の事務所ビルとしては初めて、エネルギー削減量 75%の「Nearly ZEB」を取得しました。



## 設置目的

当社は、全国でマンション約 33 万戸、ビル約 1,100 件を管理する総合不動産管理会社です。建物が老朽化するなか、良質な社会的ストック形成のためには、適切なメンテナンスが不可欠であるとの考えのもと、自社内に、建物の点検、診断、工事などを行う技術員を約 1,600 名抱え、技術力向上に注力してまいりました。

1989 年には、本施設の前身となる研修センターを建築し、人材育成に努めてまいりましたが、約 30 年が経過し、求められるサービス、ニーズも大きく変化したことから建て替えを行い、5 月より本格稼働いたしました。



今後も社員の技術力、お客様サービスの向上につながるような研修や設備、人材育成の充実を目指してまいります。

### ■東急コミュニティー技術研修センター

所在地：東京都目黒区上目黒三丁目 9 番 1 号

構造・規模：RC 造 S 造併用構造 地下 1 階 地上 5 階

敷地面積：842 m<sup>2</sup> (254 坪)

建築面積：610 m<sup>2</sup>

延床面積：2,440 m<sup>2</sup> (738 坪)

設計・施工：清水建設株式会社

### 【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター（担当：中嶋・伊藤）

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。